

国語科教育にかかわる現状と課題

部長 田中和昭

1 国語科教育の動向

【上越地区】

下黒川小学校では、「読み取ったことを活用して書くための指導法の工夫と改善」を研究主題に、「書くために読む」ことを授業研究の核に研究が進められた。読解力の向上に有効な方策として、情報の「整理・分類・関連付け」の段階での支援の工夫、練習ステップや意見交流を取り入れることなどが挙げられている。

新井北小学校では、「書く力を身に付けさせるための読みとり指導の在り方」を研究主題に、読み取る力を育てるための取組として、思考（考えをもつ） 表現（伝え合う活動を通して読みを深める） 思考（考えの再構成）の授業過程を導入した授業公開が行われた。

【中越地区】

燕市西蒲原郡小学校教育研究会では、小池小学校を会場に「学習指導研修会」を行った。研究主題を「伝え合うことで考えを深める児童の育成～活用する学習活動を通して～」と設定し、考えを深める学習過程や話し合いを活性化する学習課題づくり、発問の工夫、教師の支援、学習形態に焦点を当てた研究が進められている。

平成20年度～22年度県小教研補助事業教育課程研究大会が、井口小学校で行われた。国語科では、総合的な学習の時間や社会の学習と関連付け、地域題材のキャッチコピーづくりを話し合いながら練り上げる学習が行われるなど、言語活動の充実に向けた取り組みが発表された。

【下越地区】

外ヶ輪小学校において、同市の特区申請により創設された教科「日本語」の授業研究会が実施された。「自分を高め、共に生きる子どもの育成～『表現すること』と『日本の文化を味わうこと』を大切にした日本語教育を通して～」を主題とする研究は「音読や暗唱をすること」「適切な言葉や表現方法を使って、生き生きと表現すること」「作品にひたって楽しさを感じ取ること」「日本語のリズムを感じ取ること」等々、従来の国語科教育の捉え直しを促すような魅力ある内容を備えている。

【新潟市】

県小教研指定研究国語研究大会（三年次）が巻北小学校で行われた。「三次単元構成」の授業過程を設定している。「評価を促す発問」により考えを深めたり広げたりし、伝える力まで高めていく実践が公開された。

2 国語科教育の課題

「読み書き関連単元の系統表」の作成

言語活動を重視したカリキュラム編成と評価システムの構築

「国語力」を高める単元構成の工夫

